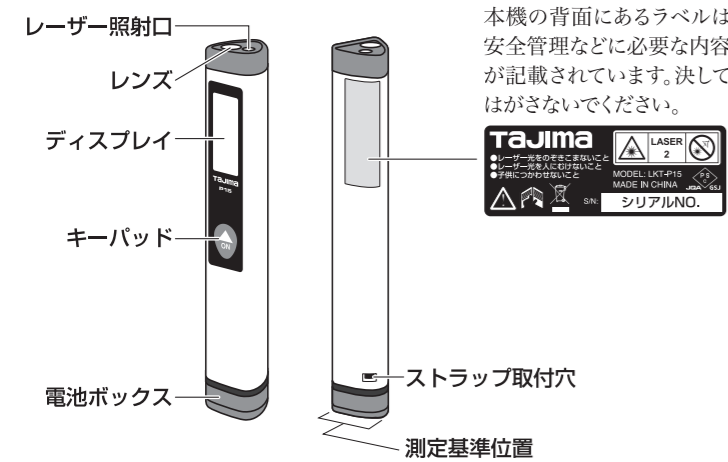


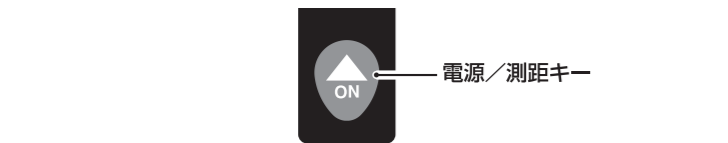
各部の名称



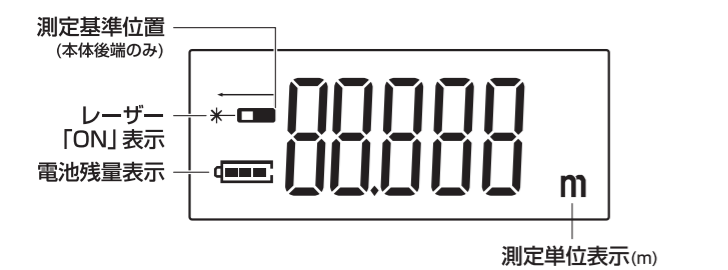
本機の背面にあるラベルは安全管理などに必要な内容が記載されています。決してはがさないでください。



キーパッドの名称



ディスプレイの名称

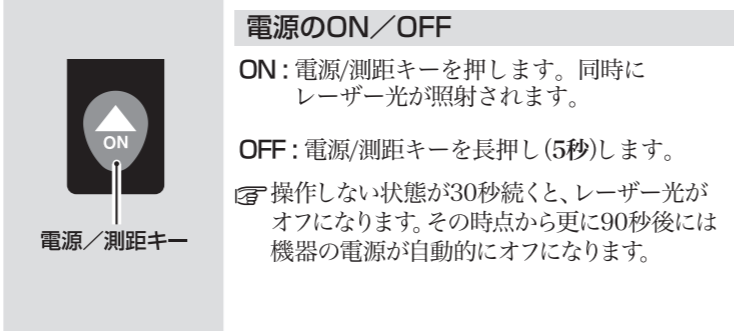
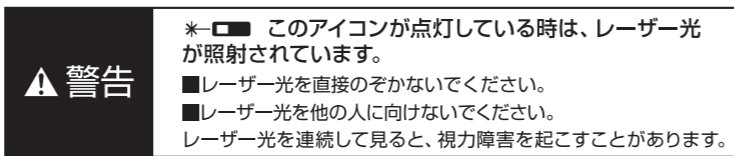


こんなときは…

問題	原因	処置
電源/測距キーが反応しない	衝撃を受けた後のハードウェアの保護	電池を一度外して入れなおす
	電池残量が少ない	新しい電池に入れ替える
	電源/測距キーの押し方が弱い	電源/測距キーを強く押す
連続測定モードにできない	電源/測距キーを押す時間が短い	電源/測距キーを3.5秒長押しする
測定中ディスプレイに数字が表示されず、ずっと“-----”が表示される または 精度誤差が大きい※	測定対象が測距範囲外	測距範囲内で測定をする
	測定対象からの反射が不適切(反射が強過ぎる又は弱すぎる) 例) ■測定面が濡れている場合や、金属面のように平滑または光沢がある場合 ■測定面が黒色や濃紺、深緑などの濃い色の場合 ■測定面が布や織物の場合 ■測定面にガラス、アクリル板など透明度がある場合 ■測定面に傾きや曲面がある場合 ■測定対象がレーザースポットに対して小さすぎる	測定ターゲットの表面を変更する 例) 白い紙をあてがう、ターゲットプレート(別売)を使用するなど
	周囲の光が強すぎる	測定対象に何らかの覆いで陰を作る
	使用・保管温度が高すぎる、低すぎる	使用温度範囲で少し経ってから使用する

※※各処置を行っても精度誤差が改善しない場合は「精度確認方法」をよくお読みください。

操作



精度確認方法

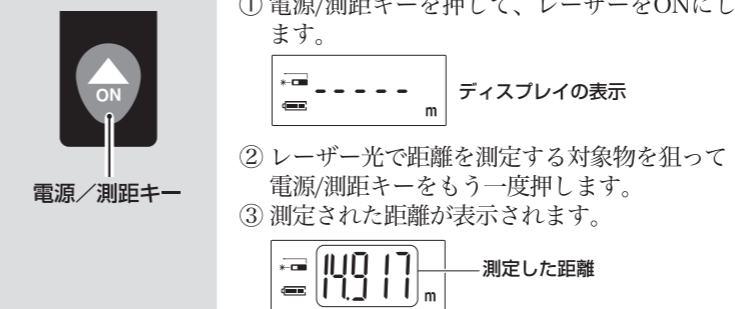
- 製品を誤って落したり、何かにぶつけてしまった場合
 - 正しい環境下で使用しても精度が気になる場合
- 下記の手順で精度の確認をしてください。

1. 屋内の柱間など距離が変化しない場所で、1~3m程度の距離を決めます。
 - ・測定対象の表面は白い柱(壁)で平坦であること。
 - ・周囲に強い光はないこと(窓際や照明の近くは避ける)
 - ・室温20°C~25°C
2. 1.で決めた場所の距離を10回続けて測定します。
3. 結果をお持ちのコンバックスや巻き尺と比較してください。

☞精度が次の数式に当てはめて許容範囲内であれば問題ありません。
精度 = ±3mm (+D※×0.1mm) ※D=距離(m)

☞許容範囲外の場合、「アフターサービスのご提供について(重要)」ページをよくお読みいただき、弊社フリーダイヤルへご連絡ください。

距離測定



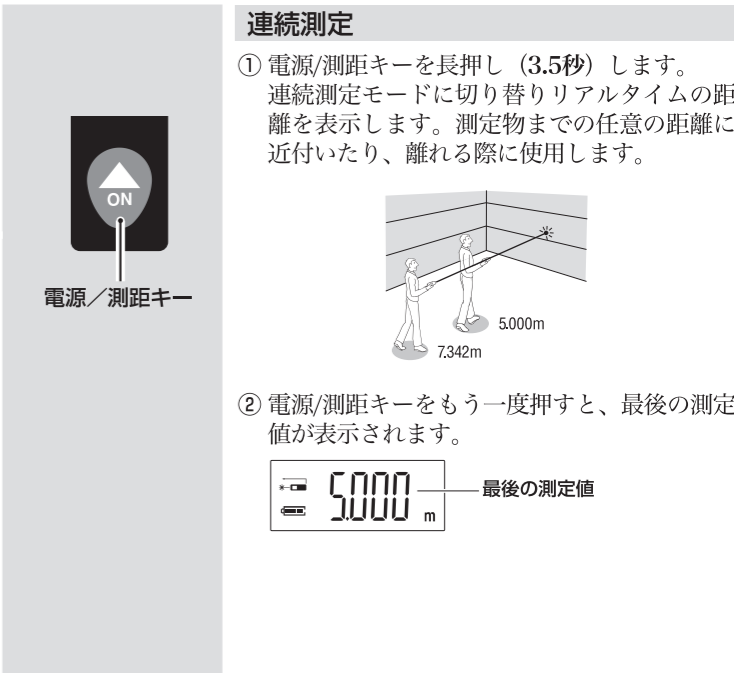
測定基準

測定基準位置は本体後端に設定されています。
※測定基準位置は変更できません。



MEMO

機能



電池残量について

電池残量が少ない場合は電池残量表示アイコンがとなります。この場合はアルカリ乾電池2本を同時に交換してください。

